

2022年12月28日

各位

サーブ・バイオフーマ株式会社  
DCI パートナーズ株式会社  
株式会社鹿児島銀行  
国立大学法人鹿児島大学

## 創薬バイオベンチャー「サーブ・バイオフーマ株式会社」設立のお知らせ

このたび、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野の小賤健一郎教授が発明した次世代の腫瘍溶解性ウイルスの研究開発を促進することを目的に、小賤健一郎教授、国内最大級のバイオ専門ファンドを運営する DCI パートナーズ株式会社および鹿児島銀行が主要投資家であるファンドを運営する鹿児島ディベロップメント株式会社が共同でサーブ・バイオフーマ株式会社（以下「新会社」）を設立しましたことを、お知らせいたします。

## 記

### 1. 趣旨

新会社は、がん細胞だけを攻撃し、正常細胞は攻撃しない「多因子制御の増殖型アデノウイルス」(m-CRA) を作り出すプラットフォーム技術を使って作製した「次世代の腫瘍溶解性ウイルス」を用いた、がんへのウイルス免疫療法の開発・実用化に取り組んでまいります。現在は、がん細胞で特異的に高発現する「サバイビン」という分子に着目した複数の腫瘍溶解性ウイルス (Surv.m-CRA シリーズ) をパイプラインとして有しており、これらの事業展開を行っております。これらの腫瘍溶解性ウイルスは、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野の小賤健一郎教授の研究成果に基づくもので、新会社は鹿児島大学発のバイオベンチャーです。新会社では一刻も早く、患者様に有効な医薬品として提供できるよう研究開発を加速してまいります。

新会社は、DCI パートナーズ株式会社が運営する大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合（以下「大和日台バイオファンド2」）及び鹿児島銀行が主要投資家であるかごしまバリューアップ投資事業有限責任組合（以下「かごしまファンド」）との間で10億円規模の出資を受ける契約を締結しております。

新会社は株式上場（IPO）準備を進めており、3年後のIPOを目指しております。これ

らの資金調達により事業の拡大・加速化を計り、革新的がん治療薬の承認・実用化と新産業創出を目指します。

新会社代表取締役である小賤健一郎は以下のように述べております。

「このたび DCI パートナーズ様、鹿児島銀行様から出資をいただき、サーブ・バイオフィーマ株式会社を創業することができました。鹿児島大学発のバイオベンチャーとして、大学から生まれた研究成果を一日も早く患者様のもとへ医薬品として届けることができるように研究開発を加速してまいりたいと存じます。腫瘍溶解性ウイルスは、がん細胞だけで増殖してがん細胞のみを殺傷するように改変したウイルス医薬で、革新的ながん治療薬として世界的にも開発・実用化が期待されています。第一弾として独自開発した次世代の腫瘍溶解性ウイルス **Surv.m-CRA** を用いたウイルス免疫療法を、がんの新しい治療法として確立することを目指していきます。DCI パートナーズ、鹿児島銀行／鹿児島ディベロップメント株式会社、鹿児島大学と強力にタッグを組むことで、鹿児島から日本・世界の患者様に革新的医薬品を届け、また新産業創出にも繋げることを目標としています。」

DCI パートナーズ株式会社代表取締役である成田宏紀は以下のように述べております。

「これまで小賤教授を中心に全てアカデミアが主体となって、非臨床開発から現在進行中の承認を目指した第Ⅱ相医師主導治験まで進められてきた事例は極めて稀であり、すばらしい成果をあげられています。今回の企業化および出資を通じて開発が加速されること、これからチームとして共に事業の発展に貢献させて頂けることを大変嬉しく思っております。また当社では、経営戦略や組織体制の構築も全面的に支援させて頂くことで、サーブ・バイオフィーマの挑戦をサポートしていきたいと考えています。」

鹿児島銀行副頭取である郡山明久は以下のように述べております。

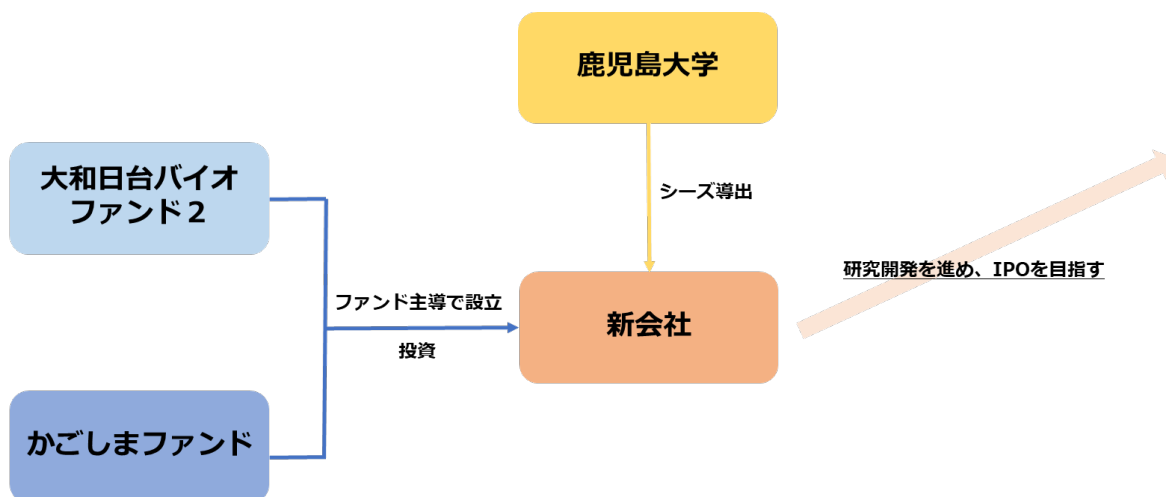
「小賤教授の研究は、未だ根治の難しいとされる希少疾患を対象としており、社会的価値の高い研究です。より多くの患者様へ医薬品を届けるため、一日でも早い事業化へ向けて議論を続けて参りました。本事業の成功は、希少疾患を克服する大きな一歩になると期待しております。鹿児島から日本全国・世界へと広がる医薬品開発の支援ができることを大変嬉しく思っております。また、地元鹿児島での新産業創出は、地域経済の活性化に繋がるものであり、今後も積極的にサポートしていきたいと考えています。」

鹿児島大学理事（企画・社会連携担当）である岩井久は以下のように述べております。

「小賤健一郎教授の研究は、学術的価値はもちろんのこと、事業化の可能性・社会的価値も高く評価され、これまで国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）を始めとする省庁の大型競争的研究費を多数獲得されています。3名の分野教員だけで医学部の解剖学や生物学の教育ならびに大学院や全学部共通教育の先端医学教育などの多大な教育業務を行いながら、これらの大型研究を担うという厳しい環境の中で、自身が獲得した公的研究費で、科学研究からグローバルな非臨床開発、臨床開発までを成し遂げられました。」

本学の医歯学総合研究科（遺伝子治療・再生医学、附属南九州先端医療開発センター、革新的治療開発センター）、大学病院（整形外科・リウマチ外科、臨床研究管理センター、検査部、放射線科、消化器内科、探索的医療開発センター）、保健学科（臨床理学療法学）の協力・共同研究による医師主導治験、南九州・南西諸島域イノベーションセンターの協力による実用化活動が身を結び、今回の新会社設立に繋がりました。今後は2社のベンチャーキャピタルよりご支援を頂く新会社「サーブ・バイオフーマ株式会社」の事業活動により、病に苦しむ日本・世界の患者様へ鹿児島大学発の革新的治療薬がいち早く届くこと、新産業が鹿児島に創出されることを期待しています。その実現のため、本学も本ベンチャーに全面的に協力・支援を行ってまいります。」

## 2. スキーム概要



### (新会社の概要)

名称	サーブ・バイオフーマ株式会社 英語名：Surv BioPharma Inc.
設立日	2022年8月22日
資本金	1億50万円（資本準備金を含む）
本社	鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 内 （鹿児島大学認定ベンチャー（予定））
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町3丁目8-3 日本橋ライフサイエンスビル3, 8階
株主	株式会社ウィック・バイオテック・フーマ 大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合 かごしまバリューアップ投資事業有限責任組合

代表取締役社長	小賤健一郎
ホームページ	<a href="https://www.survbiopharma.co.jp">https://www.survbiopharma.co.jp</a>

(大和日台バイオファンド2の概要)

名称	大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合
設立日	2020年12月15日
出資約束総額	153億円
無限責任組合員(GP)	DCIパートナーズ株式会社
運営期間	10年
投資期間	5年

(DCIパートナーズの概要)

名称	DCIパートナーズ株式会社
設立日	2014年5月20日
資本金	50百万円
本社	東京都千代田区丸の内1丁目9番1号
代表取締役社長	成田 宏紀

(かごしまファンドの概要)

名称	かごしまバリューアップ投資事業有限責任組合
設立日	2018年8月29日
出資約束総額	29.44億円
無限責任組合員(GP)	鹿児島ディベロップメント株式会社 ルネッサンスキャピタル株式会社
有限責任組合員	株式会社鹿児島銀行
運営期間	15年
投資期間	5年

(鹿児島ディベロップメントの概要)

名称	鹿児島ディベロップメント株式会社
設立日	1981年12月10日
資本金	10百万円
本社	鹿児島市山之口町1番10号
代表取締役社長	宮脇 道秋

3. 本件に関するお問合せ先

(事業に関すること) サーブ・バイオフーマ株式会社：小賤・山田

[info@survbiopharma.co.jp](mailto:info@survbiopharma.co.jp)

(投資に関すること) DCI パートナーズ株式会社：横田・早川 [dcip\\_info@daiwa.co.jp](mailto:dcip_info@daiwa.co.jp)

(投資に関すること) 鹿児島銀行地域支援部：永仮・田中 [shienbu@ml.kagin.co.jp](mailto:shienbu@ml.kagin.co.jp)

(産学連携に関すること) 国立大学法人鹿児島大学：中武・九鬼  
[screnkei@kuas.kagoshima-u.ac.jp](mailto:screnkei@kuas.kagoshima-u.ac.jp)

以上